宗複連研究部情報

平成30年12月5日（水）

文責：研究部長

全道複式研大会（9月20～21日・後志大会、9月28日・空知大会）に参加してきました。特に後志は道内でも複式教育の先進地域で、全道大会や全国大会も行われた事があります。それだけに学ぶところも多く、参考になる実践が多くありました。特に、活用できような実践を紹介しますので、もし気に入れば、取り組んでみてください。

【ガイド学習】

ガイド学習は、間接指導の効率化を図るために考えられた小集団学習の一形態で、児童の中から学習の案内役（ガイド）が選出されて、教師の指導のともに立てられた学習進行計画により、主として間接指導時の学習をグループで学習する学習形態。

私が参観した喜茂別町立鈴川小学校のガイド学習は、上記解説に書かれている段階には至っていませんでしたが、あらかじめ決められた「学習ガイド」のシナリオに従って、ガイド役の子どもが他の子に指示を出し、授業を進めていました。複式学級であるにもかかわらず、授業開始から15分間は担任が何もしゃべらない中で授業が進んでいた事が何よりの驚きでした。そこで、鈴川小学校の実践を参考に「導入バージョン」をつくってみました。

学習ガイド導入バージョン（案）

※ 網掛け部分は削除もあり

◆教師の動き G:ガイドの台詞 (子)他の子の台詞 →子どもの活動

段階	内容	ガイドが言う言葉
	授業前 ◆確かめプリントと答えを準備（時間を記入）	
振り返り	振り返り ◆問題を板書する これができるには、 前時の学習の課題とまとめがしっかりノートにまとめられている必要があります。	G:『前の時間に勉強したことをふりかえりましょう。』 →前時の「課題」と「まとめ」を読む。 (子)「前の時間は、（前時の課題）について学習しました。わかったことは、（前時のまとめ）です。」 G:『プリントで確かめましょう。時間は（ ）分です。』 →練習問題をする。 G:『答え合わせをしましょう。』 →答え合わせをする。
つかむ	課題設定 ◆事前に線の種類を決めておく	G:『今日の問題を書きましょう。時間は（ ）分です。』 G:『書き終わったら、問題を読みましょう。』 G:『「わかっていること」「求めること」に線を引きましょう。

		う。』
		G: 『「わかっていること」は[]です。「求めること」は[]です。どうですか。』
	◆前時との違いを確かめる	G: 『今までの学習と違うところはどこですか。』 (子)「前の問題は[]でしたが、今日は[]が違います。」
	◆課題を板書する	○教師から課題を提示する。 G: 『今日の課題を書きましょう。時間は()分です。』 →課題を書く。
深める	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自力解決</div> ◆個別支援 <ul style="list-style-type: none"> ・机間指導 ・必要に応じて個別に指導する 	G: 『課題を書き終わったら、問題を始めてください。時間は()分です。』 →各自で問題に取り組む。 G: 『答え合わせをします。』 できなかった子→「できませんでした」/できたところまで発表 できた子→発表
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">集団解決</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学び合い</div>	G: 『自分の考えを発表してください。』 →発表 G: 『質問や意見はありませんか。』
	◆直接指導 <ul style="list-style-type: none"> ・解法の説明とまとめ 	
広げる	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">まとめ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">習熟・定着</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">応用</div>	G: 『今日の学習のまとめをノートに書きましょう。時間は()分です。』 →「まとめ」をノートに書く。 G: 『書き終わったら、「課題」と「まとめ」を読みましょう。』 →各自で「課題」と「まとめ」を音読する。
	◆練習問題を準備	G: 『練習問題をしましょう。時間は()分です。』 G: 『答え合わせをしましょう。』

私見

ガイド学習の利点は、子ども達が自分で学習を進められる事で教師にわずかでも時間と心の余裕ができ、「同時間接指導」も可能になることです。教師が指示しなくても授業が始まり、進んでいく授業システムを創る事が宗谷の複式学級に必要なだと強く感じました。鈴川小学校の資料をご希望の方は、研究部長（枝幸町立音標小学校長）まで。